

アブラナ科野菜黒腐病 (Black rot)

Xanthomonas campestris pv. *campestris*



キャベツ外葉の葉縁から生じた病斑



食害痕から生じた病斑

発生生態

キャベツ、ハクサイなど多くのアブラナ科野菜に発生します。下葉の葉縁にくさび型の黄色病斑を生じ、褐変しながら拡大します。害虫の食害痕から病斑を生じることもあります。降雨や灌水によって感染が広がります。種子伝染では子葉の頂部から黒変し、やがて萎凋、枯死します。

防除対策

アブラナ科野菜の連作を避け、抵抗性品種を栽培しましょう。薬剤は発病前から予防的に散布し、特に強風雨の後には出来るだけ早く散布することが重要です。害虫を防除して食害痕を作らないことも、発病を抑えるのに有効です。